

事務事業名	県消防広域化推進協議会参画事業		所属部局	消防本部		単位番号	13078					
			所属課室	管理課		課長名	中込久男					
	☐ 実施計画事業		所属担当	管理担当		担当者名	清水賀津雄					
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		06	安全な環境づくり		事業区分	01	一般	09	01	01	050	08
施策		08	防災体制の充実			☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☒ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 21 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠	市町村の消防の広域化に関する基本指針 山梨県消防広域化推進協議会規約								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 山梨県内の10消防本部が広域化に向けて協議するための事務局である山梨県消防広域化推進協議会への参画負担金。 (県下消防本部の一本化構想による消防広域化推進協議会が平成24年度末で解散することが決定されたため、当該参画事業は平成24年度末で廃止となる)					事業費の主な内訳（24年度 決算見込）						
						項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
						その他負担金	193					
										計	193	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	協議会2回、幹事回5回が開催され、平成21年度から継続協議してきた広域化推進協議会の解散が決定された。
25年度活動予定	事業廃止
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
消防本部における事務事業及び災害現場における有効的な活動	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
県内の消防本部が広域化した場合の消防事務及び災害活動方法を有効的に行う	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
防災体制の充実	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
会議数	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
県内消防本部数	本部
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
県内消防本部数	本部
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
市民の消防に対する満足度	%

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	287	193						
		事業費計 (A)	千円	287	193	0	0	0	0	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1						
			延べ業務時間	時間	2	2						
			人件費計 (B)	千円	8	8	0	0	0	0	0	0
			(A)+(B)	千円	295	201	0	0	0	0	0	0
活動指標		アイウ	回	14.0	7.0							
		アイウ										
対象指標		アイウ	本部	10.0	10.0							
		アイウ										
成果指標		アイウ	本部	10.0	10.0							
		アイウ										
上位成果指標		アイ	%									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	国の指針により、山梨県消防広域化推進協議会が平成21年10月に立ち上げられた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	特になし
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	不明

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	協議会発足当初から県内10消防本部で按分された負担金の事務であり、現在までは、特に取り組みしていない。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	県消防広域化推進協議会参画事業	所属部	消防本部	所属課	管理課
-------	-----------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 消防力を充実させることを含め、消防の広域化を協議することで、市民の安心安全に結びつくと思われる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 民間等には委ねられない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 対象及び意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 県内の市町村長が広域化に向けた協議を行う協議会であり、消防本部としては幹事会、専門部会を通じて広域化を検討するためのデータ収集等を行うが、協議会の進め方を変えることは困難。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 県内各市町村長で組織する協議会において平成24年度末での解散が決定した為、事業が終了となる。 ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 県内各市町村長で組織する協議会において平成24年度末での解散が決定した為、事業が終了となる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 県内10消防本部で按分された負担金である為。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 負担金の払い込み事務のみである為、削減余地なし
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 公平公正

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	山梨県内の10消防本部の広域化に向けた協議のための消防広域化推進協議会の解散が決定したことにより、平成24年度末で事業が終了する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☒ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑫																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					